

用 例  
 ○：要事前協議  
 △：内容により事前協議  
 ×：原則として事前協議  
 の必要なし

候補者  
法人の代表者等

在任前に当該法人等における  
指揮下の職員等の関係する  
事故等あり

在任中に民事訴訟の  
提起あり

在任前後に民事訴訟の  
提起あり

民事訴訟の提起なし×

重大な事故○

その他の事故△

重大な事故

その他の事故

民事訴訟が係属中 ○

民事訴訟は和解等 △

民事訴訟が係属中 △

民事訴訟は和解等 ×

在任中に当該法人等における  
指揮下の職員等の関係する  
事故等あり

報 道 あ り ○

そ の 他 報 道 あ り  
報 道 等 な し

重大な事故

その他の事故

民事訴訟提起あり ○

民事訴訟提起なし △

民事訴訟提起あり △

民事訴訟提起なし ×

在任後に当該法人等における  
指揮下の職員等の関係する  
事故等あり

報 道 あ り ○

そ の 他 報 道 あ り

報 道 等 な し ×

民事訴訟提起あり △

民事訴訟提起なし ×

事故等の時期

民事訴訟の時期及び有無

事故等の種類

訴訟等の現状

報道等の有無

民事訴訟の有無

## 用語の定義について

- **事故等**

主として刑事事件に至らない事故全般をさす。ただし、刑事事件として立件されるか不明である場合は、ここでいう「事故等」に該当するものとする。例えば、医療に関する事故、労災事故、食中毒事故等。なお事故でなくとも、争いのある事案についても含むものである。
- **報道**

新聞の全国紙（読売・朝日・毎日・日経・産経）、新聞の地方紙（県レベルで主要なものに限る）、週刊誌（大衆紙）で報道があった場合をいう。また、報道の有無にかかわらず、自ら事故を公表した場合を含むものとする。
- **その他報道**

上記以外の新聞（専門紙・業界紙等）、専門雑誌等で報道があった場合をいう。
- **重大な事故**

事故等において、死亡又は後遺障害の者があった場合、医療に係る事故（医療法施行規則第九条の二十三第二号のイ及びロに該当する事例に限る（なお、全医療機関を対象とする））の場合をいう。  
※参考（医療法施行規則／抄）  
第9条の23  
二（略）  
イ 誤った医療又は管理を行ったことが明らかであり、その行った医療又は管理に起因して、患者が死亡し、若しくは患者に心身の障害が残った事例又は予期しなかった、若しくは予期していたものを上回る処置その他の治療を要した事案  
ロ 誤った医療又は管理を行ったことは明らかでないが、行った医療又は管理に起因して、患者が死亡し、若しくは患者に心身の障害が残った事例又は予期しなかった、若しくは予期していたものを上回る処置その他の治療を要した事案（行った医療又は管理に起因すると疑われるものを含み、当該事案の発生を予期しなかったものに限る。）  
【イの具体例】  
異物の体内遺残／手術・検査・処置・リハビリ・麻酔等における、患者や部位の取り違い／明らかに誤った手順での手術・検査・処置・リハビリ・麻酔等／重要な徴候、症状や検査結果の見落とし又は誤認による誤診／投薬にかかる事故（異型輸血、誤薬、過剰投与、調剤ミス等）／機器の間違い又は誤用による事故／明らかな管理不備による入院中の転倒・転落、感電等／入院中に発生した重度な（Ⅲ・Ⅳ度）褥瘡  
【ロの具体例】  
手術・検査・処置・リハビリ・麻酔等にともなう予期されていなかった合併症／リスクの低い妊産婦の死亡／医療機器等の取り扱い等による重大な事故（人工呼吸器等）／チューブ・カテーテル等の取り扱いによる重大な事故／熟練度の低い者が適切な指導なく行った医療行為による事故／入院中の転倒・転落、感電、熱傷／入院中の身体抑制にともなう事故／その他、原因不明で重篤な結果が生じた事例
- **民事訴訟の提起**

提起の時期について、表中に特段の断りがない場合は、資料作成時点までとし、かつ民事訴訟の結果にかかわらず提起があった場合は「あり」とする。
- **和解等**

資料作成時点において、民事訴訟の勝訴が確定した場合、民事訴訟の敗訴が確定し賠償等の支払いが終了した場合、和解して賠償等の支払いが終了した場合をいう。

## 留意事項について

「内容により事前協議」である場合、現時点で報道等がなくても、例えば、訴訟の行方次第では、後日報道があることも念頭に、慎重に判断するとともに、候補者に係る書類提出後も、全候補者について、栄典環境上の問題が発生していないか注意を怠らず、栄典環境上の問題があると考えられる事案が発生した場合は、速やかに連絡されたい。